

成田セイリュウ

滋賀県議会議員（大津市選挙区）

成田セイリュウ プロフィール

1974年8月15日大津市生まれ
唐崎小、唐崎中、膳所高卒、龍谷大学法学部政治学科卒業
同志社大学大学院総合政策科学研究科博士前期課程修了
宅地建物取引士 / 大津市消防団地域防災指導員

滋賀県監査委員（議会選出） / 土木交通・警察・企業常任委員会 委員
第11回マニフェスト大賞 優秀政策提言賞受賞
〒520-0106 大津市唐崎 1-20-28 mail@narinari.net



NewsReport Vol.71 2023年春号

4期16年お世話になりました!

32歳の初当選以来、4期16年にわたりまして、皆様にお力を頂きながら、様々な県政課題に果敢に挑戦させて頂きましたことに、心より感謝申し上げます。4月の滋賀県議会議員選挙には出馬しないことを決断しました。

大規模災害や気候変動、感染症の拡大等、社会構造が変化中、政策課題も変わっていきます。新たな時代に即応した行動が重要であり、制度のはざまに、誰ひとり取り残されないように取組を進めていくことが重要です。

子どもたちの夢や希望が実現でき、すべての人に笑顔と希望があふれる「輝くまち」を築くために、地域活動を続けて参りますので、引き続きのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

成田 政隆



子どもとともに作る県政について

成田 子ども・若者の声を政策にいかすための広報・広聴の充実に向け、どういった取り組みを行うのか？

三日月知事 県政に子どもや若者の視点を取り入れるため、分かりやすく情報を伝えるとともに、意見を聴き、施策に反映する仕組みをつくることが重要。知事あての手紙を受け付けるほか、新たに高校生を対象とした次世代県政モニター制度を設けます。

加えて、こうした情報の発信と共有のプラットフォームとしてポータルサイトを開設し、県政や地域課題にも関心を持ってもらえるよう取り組んでまいります。

成田 学校現場において、困難な課題を抱える子どもたちに対し、教育相談体制の充実を図っていくのか？

教育長 令和5年度は、児童生徒がスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーに相談できる時間を拡充。併せて、県と市町の連携、教育と福祉の連携も、大切であり、関係者とともに、子どもたちや保護者への相談支援体制の充実にも努めてまいります。

成田 子ども県議会をはじめ、これまで子ども意見の県政に反映してこられました。「子どものために、子どもとともに作る県政」を実現していくことのできる（仮称）子ども基本条例の制定に向けた意気込みについて？

三日月知事 一人存在主体としての「子ども」というと、社会の一員である「子ども」、そして未来、次世代の希望としての「子ども」という、そういった「子ども・子ども・子ども」の視点を大切にしながら、条例として形づくってまいります。

びわこ文化公園都市について

成田 びわこ文化公園都市をどういった魅力あるエリアにしていこうと考え、ビジョンを改定しようとしているのか？

三日月知事 新たにプロスポーツチームやショッピングモールなど魅力あるメンバーにも御参画いただき、既存施設とキャンペーンやイベント等を共催するなど、新たな来訪者を誘発することで、更なるにぎわいの創出を図りたい。

成田 びわこ文化公園都市のアクセスに関する課題がどこにあると認識しているのか？

三日月知事 道路渋滞によるバスの定時性・速達性の低下や、休日のエリア内駐車場の不足等が主な課題である。びわこ文化公園都市へ公共交通で、



より便利に、快適にアクセスできるようにすることも重要であり、市や交通事業者と連携し、バス待ち環境の改善や道路渋滞の影響を受けない交通システムの検討、キャッシュレス決済の導入など利便性向上を進めてまいります。

また来年度から、区域内の課題等を解決するためのタスクフォースを設置する予定であり、御提案の散策路整備や、電動キックボード導入の可能性なども含めて検討し、都市内のアクセシビリティの向上に努め、にぎわいの創出を図ってまいります。



第11回マニフェスト大賞
優秀政策提言賞受賞（若年がん対策）



びわ湖の環境保全にむけて
市民コンサリ



山の魅力向上へ
比良山からびわ湖を望む



未来をつくる子どもたちへ
小学校にて特別授業



被災地にて災害ボランティア
（福岡県朝倉市）



全国の地方議員と勉強会
（福島第一原子力発電所視察）

未来への責任

成田セイリュウ 4期16年の議員活動

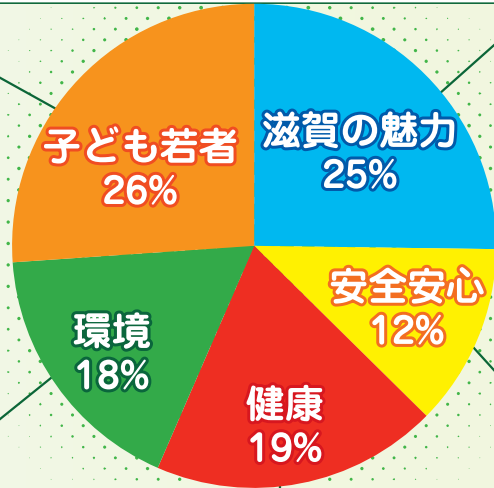
子ども若者



子ども環境活動
ボランティア

- 少人数学級の完全実施（小1～中3）
- 学習船「うみのこ」新船建造
- スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの拡充
- 県立学校の空調設備整備・トイレ整備
- 学校のICT化の推進
- 滋賀県立図書館協議会の設置
- 公立図書館と学校図書館の連携による活性化
- (仮称) こどもとしょかんの検討
- 生活困窮者世帯の子どもの学習支援活動の促進
- 若者サポートステーションの機能向上
- ヤングケアラー対策の推進
- 子ども参画の推進

4期16年の間に本会議において、代表質問4回、一般質問49回、予算特別委員会で質疑を4回、140項目の質疑・質問を行いました。皆様の想いを形に、輝く未来のために、政策提言から実現に向け、多くの県政課題に立ち向かって参りました。



滋賀の魅力



ナショナルサイクルルート
「びわいち」1周年記念

- 「びわいち」（びわ湖一周）の推進
- 首都圏情報発信拠点「ここ滋賀」の整備
- 映像誘致とロケ支援
- 無料Wi-Fiスポットの整備
- ふるさと納税のさらなる展開
- 滋賀県公文書等の管理に関する条例制定
- 歴史的文書の保存・活用と公文書館の設置
- 湖西線の利便性向上対策
- 社会インフラとしての地域公共交通のあり方検討
- 滋賀県版 MaaS の推進
- 滋賀県議会県民参画委員会の開催
- 通年議会の導入
- 滋賀県議会基本条例の制定

環境



侵略的外来水生植物
駆除活動

- 在来魚介類の復活に向けた研究の推進
- 水草刈取船の増船、水草調査機器の整備など水草対策の拡充
- 生物多様性のための「30by30」の推進
- 侵略的外来水生植物対策の拡充
- びわ湖虫対策
- 琵琶湖レジャー対策の強化
- プラスチックごみ発生抑制対策
- 滋賀県水源森林地域保全条例の制定
- 森林境界明確化の対策強化
- ナラ枯れ対策
- 獣害対策の拡充
- ESG 債の発行

健康



第回びわ湖マラソン

- コロナ後遺症外来の開設
- がん患者への就労支援
- 若年がん患者の妊孕性温存医療助成
- 骨髄等移植ドナー助成制度の創設
- 滋賀県がん対策の推進に関する条例の制定
- 発達障がい児者の家族支援
- 軽度・中等度難聴者児の補聴器購入等に対する助成制度
- 介護人材不足の解消
- 小規模介護施設のスプリンクラーの設置補助
- 県内すべての学校での AED の設置
- 相談体制の強化、ゲートキーパ養成等自殺予防の推進
- 市民マラソンにおけるフルマラソンの開催

安全安心



消防団活動

- 滋賀県危機管理センターの整備
- 滋賀県業務継続計画の策定
- 災害時要援護者対策
- 治山事業等防災分野におけるデジタル技術の活用
- 防災機能における公園の役割
- 地域若者サポートステーションにおける臨床心理士の配置
- 首都圏における UIJ ターン就職の促進
- 山岳遭難対策の推進
- 犯罪被害者等支援条例の制定
- 特殊詐欺の啓発活動の推進
- サイバーボランティアの活動支援